


The Asahi Shimbun



**主な腫瘍マーカー**

がんの種類	腫瘍マーカー
食道がん	SCC
肺がん	CEA SLX
扁平上皮がん	CYFRA SCC
小細胞がん	NSE
乳がん	CA15-3
肝臓がん	AFP
胆道がん	CA19-9
胃がん	CEA
膵臓がん	CA19-9 SLX
大腸がん	CEA
子宮頸がん	SCC
卵巣がん	CA125 SLX
前立腺がん(男性)	PSA

国立がん研究センターによる

# 精

がん剤が効くかどうかをみる、という3種類だ。人間ドックなどで実施さ

## ■主な腫瘍マーカーの特徴

AFP	たんぱく質αフェトプロテイン。肝臓がんでも増えないことや、肝硬変や肝炎で増えることも
CA125	糖鎖抗原125。卵巣がん以外に肺・乳・膵臓(すいぞう)がんや子宮内膜症などで増えることも
CA15-3	糖鎖抗原15-3。乳がんのほか卵巣がんなどで高くなることも
CA19-9	糖鎖抗原19-9。膵臓・胆道がんのほか胃・大腸・肝臓などの消化器がんなどでも高くなる
CEA	本来、胎児にだけあるたんぱく質「がん胎児性抗原」。胃・大腸・肺がんのほか多くのがんで陽性に
CYFRA(シフラ)	たんぱく質「サイトケラチン」の一部。肺がんのうち扁平(へんぺい)上皮がんで高くなる
NSE	酵素「神経特異エノラーゼ」。小細胞肺がんのほか、神経芽細胞腫などでも高くなる
PSA	前立腺特異抗原。前立腺がんのほか前立腺肥大症でも高くなる
SCC	たんぱく質「扁平上皮がん関連抗原」。子宮頸(けい)がんや肺の扁平上皮がんで高くなる
SLX	糖鎖抗原の一種。肺・消化器・乳・卵巣がんなど多くの種類で高くなる